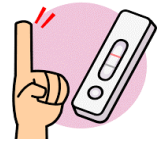


新型コロナの検査と特徴

～あわてずに、適切な時期に適切な検査を！～



	PCR検査	抗原検査	抗体検査
検査に適した時期	発症2日前から 発症後2週間	発症後2～9日	発症後14日以降
検査でわかること	現在の感染の有無	現在の感染の有無	過去の感染歴
	陰性：現在感染なし 陽性：現在感染している	陰性：現在感染なし 陽性：現在感染している	陰性：過去に感染なし 陽性：過去に感染していた
検査対象	保健所または医師の判断	症状がある人	規定なし
検査場所	医療機関	医療機関	(未把握)
国内法律	承認されている	承認されている	承認されていない
保険適用	あり	あり	なし
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ウイルス遺伝子の存在をとらえる方法 感染性のあるウイルスをとらえるものではない 	<ul style="list-style-type: none"> 症状に乏しい感染者に対する検査には使いにくい ウイルス量が少ない場合の検出能力が低い 	<ul style="list-style-type: none"> 現時点では、過去の感染確認以上の意義を持たない
検体	鼻奥の粘膜、唾液、痰	鼻奥の粘膜	血液
判定時間	2～3日程度	30分程度	15～30分程度
結果の精度	高い (陽性判定の場合は確定)	PCRより低い (陽性判定の場合は確定)	検査方法によって精度にばらつきがあるため注意が必要
 留意点	共通して、いずれも偽陽性（誤って陽性と判定されること）や偽陰性（誤って陰性と判定されること）が一定の確率で起こることを理解する。また、 <u>検査の性質に応じて適切なタイミングで検査を実施することが必要</u> である		現在、抗体陽性の者であっても、 <u>今後の感染や重症化しないかどうかはまだ明らかでない</u>

